

原子力安全性向上分科会、原子力コミュニケーション分科会 報告

1 前回委員会(2018.10.12)以降の分科会開催実績

【原子力安全性向上分科会】

- ・ 第6回 原子力安全性向上分科会 (2018年11月)
- ・ 第7回 原子力安全性向上分科会 (2019年2月)

【原子力コミュニケーション分科会】

- ・ 開催実績なし

2 第6回、第7回 原子力安全性向上分科会の概要

- 第6回分科会では、川内1号機、第7回分科会では川内2号機の安全性向上評価について、それぞれご意見やご助言を頂きました。

【主な審議項目】

- ・ 安全性の向上のため自主的に講じた措置
 - 取組の方針、調査等、安全性向上計画、追加措置の内容、外部評価の結果
- ・ 安全性の向上のため自主的に講じた措置の調査および分析
 - 安全性の向上に係る活動の実施状況の評価、中長期的な評価
- ・ 総合的な評定

【主なご意見・ご助言】 ※ 届出書記載の外部評価内容から抜粋

- ・ PRAの人材を育成するとあるが、電力会社が自ら分析すべきPRAと今後もメーカーが行うべきPRAがあり、その役割を意識して人材を育成することが必要である。また、メーカーの分析に対する要求を出したり、その結果に対し適切な判断ができるような人材を育成することが電力会社の役割だと考える。メーカー並びに電力及び協力会社との役割分担を整理し、それぞれに必要な力量を特定し、それらをいつまでに達成するか具体的な計画を策定すべきである。
- ・ IRIDM (Integrated Risk Informed Decision Making) には、全社大での資源配分の決定等が必要であり、原子力部門だけでなく全社大で取り組むことが必要である。

その他、安全性向上評価届出書の説明性を向上させるために有益な多数のご助言を頂きました。

【安全性向上評価届出書の提出】

- ・ 分科会で頂いたご意見を外部評価として届出書に記載し、それぞれ原子力規制委員会に提出しました。

(川内1号機) 2019年1月7日 届出書提出 (川内2号機) 2019年3月28日 届出書提出